

平成30年度第2回理工学分野連携グループの合同会議議事録  
学系別FD/ICT活用研究委員会（物理学、化学、機械工学、建築学、経営工学）  
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（電気通信工学、土木工学、生物学）

- I. 日時：平成30年11月11日（日） 10:00～12:00
- II. 会場：私学会館（アルカディア市ヶ谷）7階妙高
- III. 出席者：角田総括委員長、田辺委員長、田中委員（機械工学）、関口委員長、澤田委員（建築学）、渡邊委員長、井上委員（経営工学）、寺田委員長（物理学）、及川委員長、小林副委員長、幅田委員、庄野委員、武岡委員（化学）、新津委員、高原委員（電気通信工学）  
栗原委員、武田委員（土木工学）、西村委員（生物学）  
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議題概要

1. 開催の日時、場所について

- ・ 12月26日（水）13:30～17:00で法政大学の市ヶ谷田町校舎で開催することにした。

2. 話題提供について

- ・ 前回の委員会で調整することにした4件で行うことにし、タイトルと概要を確認した。
- ・ 話題提供の内容から、〇〇分野の発表として表記していたが、その分野に限定する話題ではないことから、タイトルの前の分野表記は止めることにした。
- ・ 話題提供の順番について議論され、「異分野融合によるビジネスシーンを模したプロジェクト教育の紹介」、「学内外の多様性を活かした考動型学びの事例紹介とICT活用による高度化」、「ものづくりPBLによる質保証を目指した企業との共創教育の取り組み」、「大人数講義におけるタブレットを用いた双方向授業の実践」の順で行うことにした。また、①等の表記は、対話集会のねらいとの対応と考える可能性があることから※印でタイトルを列挙することにした。

3. 開催要項について、その他の意見

- ・ 開催趣旨や意見交流の説明で、「知識の創造・実践力を目指す」との記述は、「の向上を目指す」にすることにした。
- ・ 意見交流では、4つのテーマの順番について検討の流れを考慮し、①課題探求型授業のICT活用、②知識の創造と分野横断型フォーラム授業、③オープンな教育改善、④外部評価モデルの順として、対話集会のねらいの順番も合わせることにした。
- ・ アンケートは、課題の記述欄を大きくする意見があり、所属・メール欄を修正することにした。また、記入の指示には「チェック印を付けてください」の記述を追加することにした。

V. 今後の予定

12月26日（水）に理工学分野連携グループの対話集会を開催することになっている。